

北海道の期限付教員の魅力について

函館市立北中学校で勤務する、クリスト慎介先生に、北海道で期限付教員として勤務することをお考えの皆さんに向けたメッセージなどをいただきました。

クリスト先生は、日高管内浦河町や渡島管内函館市などでの約3年半の期限付教員としての勤務経験を経て、平成30年度実施の北海道教員採用候補者選考の「期限付教員特別選考」で正規教員に採用となり、現在、北中学校で勤務しています。

○現在居住・勤務している地域・学校の様子

私の勤める学校は、国外から多くの観光客が訪れる「五稜郭」で有名な、函館市の山の手地区にあります。校区は閑静な住宅街で、アパートや戸建ての住宅などが建ち並ぶ、比較的静かな環境となっています。

近年は少子化の影響で、昭和57年4月に開校した当初は17クラス規模の学校でしたが、現在は全校で8クラスとなっており、生徒の減少傾向が続いています。

学校の今年度の重点教育目標は、「個別最適な学びと、協働的な学びの取り組み、自らの可能性を最大限に引き出す生徒」として、一人一台端末を有効に活用した学習活動に積極的に取り組んでいます。



○現任校での勤務状況

今年度は2年生の学級担任をしています。2学級ありますが、学年の先生方と連携しながら、行事の打ち合わせなどを行っています。校務分掌は、生徒指導部で、生徒会を担当しています。生徒と共に集会や文化祭の準備を行い、また市内で行われるon lineの会議にも参加しています。部活動は、サッカー一部の顧問で、年間を通して行われるカブスリーグに参加し、審判の資格も取り、生徒とともに練習に励んでいます。冬の期間は、フットサル大会へ向けて、練習も行っています。担任、生徒会、部活動と忙しい日々を送っていますが、周りの先生方に支えられながら、様々な事を勉強しています。



○生活の様子

函館市は平成16年12月に近隣の3町1村と合併しましたが、合併前の旧函館市内には教員住宅が殆どないため、住宅手当を支給され賃貸住宅を借りる形で生活しています。

日常生活用品を購入するドラッグストアやスーパーマーケットなども近くにあり、日常の買い物には困りませんが、郊外にある大型書店に行ったり、ホームセンターなどに行く機会もあり、車があると生活にはとても便利です。



○北海道の期限付教員を希望した理由

北海道は、世界有数の雪質を誇り、海外からの訪問者も増えています。そうした現状を踏まえ、英語の必要性や有効性を子どもたちに伝えたいと思いました。雄大な自然と大地に恵まれている本道の環境の豊かさに自覚を持たせ、子どもたちに未来を生き抜く力を育成したいと考えました。

○北海道で期限付教員として勤務することの魅力・メリット

それぞれの勤務地では、その土地の特色を存分に楽しむことができました。日高管内の浦河ではスピードスケートが盛んで冬の時期になると地域の方々と協力して子どもたちのためにグラウンドに氷のリンクを作りました。

また函館市の恵山では近くの福祉施設に吹奏楽部の生徒たちと協力して、定期演奏会を行ったことなど、短期間でしたが、様々な場所や学校に勤務できたことはとても貴重な経験でした。

○期限付教員時代の思い出・印象に残っていること

様々な先生方と出会うことで、たくさん支えられながら学習指導や生徒指導などを学ぶことができました。自分が壁に突き当たった時に、「謙虚な姿勢と熱い気持ちをもって、どんなことがあっても正面突破なさい。」とアドバイスしていただいた先輩の言葉を今でも大切にしています。

部活動においても、いろいろな部を指導することができ、たくさんの生徒たちと関わることができました。今でもその経験が生きていると思います。初めて担任を持つことができたのも期限付教諭の頃でした。様々なことにチャレンジできたことはとても大きな財産です。

○北海道で期限付教員としての勤務をお考えの皆さんへのメッセージ

北海道は、住む場所によってたくさんの魅力があります。どの場所に勤務することになっても、新しいことにチャレンジすることができ、自分を更に成長させてくれる環境だと私は思っています。この広大な自然の中で生徒たちと共に成長できる環境はとても素晴らしいと思います。機会があれば、思い切って北海道で勤務してみたいかがでしょうか。きっと素敵な出会いがあなたにもあるはずです。